

自民党公認

山本ともひろ

衆議院議員5期16年

元防衛副大臣
元内閣府副大臣

49歳

6つの宣言！

カルトにNO！

旧統一教会問題は、被害に遭われた方々に心よりお詫びを申し上げます。自民党から山本を含めて180名の議員に接点がありました。2010年以降は靈感商法の被害届もなく、教会名ではなく政治団体を名乗り接触を計って来た結果、他の団体と変わりなく接してしまったことを改めて謝罪します。未だに問題を抱えており、それらを自民党との接点を利用して行っていた事実が判明したことで一切の関係を断つ「断絶宣言」をしました。「解散命令」にも大賛成です。山本も「信者だ！」と事実無根の誹謗中傷を受けるなど、被害に遭われた方々の心痛に共感を抱き「カルトにNO！」と宣言します。

裏金にNO！

同僚議員が逮捕されるなど政治不信を招いたことを謝罪申し上げます。いわゆる裏金問題は、派閥に属する自民党の85名の議員が政治資金収支報告書への記載漏れや誤記載によるものです。これは、明らかに政治資金規正法違反であり、決して許されるものではありません。政治資金規正法を改正し、議員本人に対する罰則の強化やパーティー券購入者の公開基準額の引き下げなどを行いましたが、まだまだ不十分だ！と断ぜざるを得ません。不透明な政策活動費を廃止するなど政治資金のさらなる透明化と適正化を行えるのは、無派閥で裏金を1円も受け取っていない山本だからこそ。ここに「裏金にNO！」と宣言します。

NO×3

不平等な地位協定にNO！

同盟関係は、本来対等であるべきです。しかし、日米同盟においては、それは適切に運用されているとはいえない現実があります。その一番の原因は日米地位協定です。例えば、日米地位協定では、公務中の米軍関係者が刑事犯罪を起こした場合、米国の軍法裁判で裁かれると規定しており、日本の捜査機関や司法が扱えるのは、米軍が身柄引き渡しを認めた場合に限りです。二度に渡り副防衛相の任に当たり議論を提起した山本だからこそ、日米地位協定改定に着手すべきだ！と「不平等な地位協定にNO！」を宣言します。

若きサムライ、日本を守る！

強い経済にYES！

固定資産税ゼロ、事業承継時の相続税ゼロなど中小企業・小規模事業者への画期的な制度で応援が続けます。事業承継の障害とならないよう金融機関による新旧経営者からの保証の二重徴求を原則認めないことにします。成長戦略、生産性革命、人づくり革命などの政策を総動員し、GDP600兆円経済、成長と分配の好循環を創ります。エネルギーの安定供給と低コスト化を両立するための技術革新を進め、エネルギーミックスの確実な実現とエネルギー自給率の向上に取り組み、SDGsにも貢献し「強い経済にYES！」を言います。

憲法改正にYES！

先ずは、自衛隊の明記です。3月5日、24時間、国民のため日本のために職務を遂行している自衛隊が明記されていないのはおかしい。「政治は国民のもの」「自民党立憲宣言の冒頭に掲げられた基本理念です。憲法もまた、国民のものです。みんなで憲法について議論し、必要な改正を行うことで、国民自身の手で新しい「国のかたち」を創る。それこそが「国民主権」のあるべき姿です。山本は、常に国民の皆様視点から国や行政のあり方、そして自民党のあり方を見直し、改革を続け「憲法改正にYES！」と宣言します。

YES×3

エセ科学撲滅にYES！

トンデモ科学、エセ科学を国会で唯一追及したのが山本です。夢のような技術を、さも実現できるかのように騙り、皆さんを欺いてくるのがトンデモ科学、エセ科学です。パイプテクトーと呼ばれる配水管に外付けするだけで赤錆を黒錆に変え、無電源で作動し続けるなど荒唐無稽なうたい文句で皆さんに近づいてくるアイテムを国会で質し、現在も継続審議中です。再び国政の場に戻して頂ければ、引き続きトンデモ科学、エセ科学を追及する山本だからこそ。消費者である皆さんを守るため「エセ科学撲滅にYES！」と宣言します。

私たちも山本ともひろ君を応援しています。

内閣総理大臣
党副総裁
環境大臣
党連合会長
党選対委員長
前経済安全保障担当大臣
(松下政経塾5期)

破義
尾慶
泉進
市早
石菅浅小高
茂偉郎郎苗



X



Facebook



HP

是非アクセスして下さい。山本の日頃の活動や手料理なども掲載しています。

■プロフィール

昭和50年(1975年)生まれ 49歳 鎌倉在住 ●関西大学 商学部 商学科 卒業
●京都大学 大学院 法学研究科(行政学)修士課程 修了 ●(財)松下政経塾 卒塾(21期) ●米国ジョージタウン大学 客員研究員、その後、会社員を経て ●平成17年(2005年)衆議院議員 初当選 現在5期 ●平成26年(2014年)文科大臣政務官・復興大臣政務官 ●平成27年(2015年)内閣府大臣政務官(オリンピック・パラリンピック担当) ●平成29年(2017年)防衛副大臣・内閣府副大臣 ●平成30年(2018年)自由民主党国防部長 ●令和元年(2019年)防衛副大臣・内閣府副大臣 ●令和3年(2021年)自由民主党文部科学部会長 ●趣味/ボーイスカウト・料理